

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 5 月 7 日 (17 : 15～18 : 15)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	6 名 (意見確認 12 名)

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	6 人	5 人	1 人	0 人	12 人

前回の改善計画	・全体会議等で利用者数名のモニタリングを行うことで課題を明確化する。また、文章に残すことで確認できる機会を職員全員が持てるようにする。 ・必要な事項は記録に残すこと、申し送りなど口頭でも伝えることを周知し徹底を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・収集した情報はケース記録やノートに文章で記載し、周知することができた。ほか、申し送りでも周知を図ることができている。 ・本人の様子や言動など他スタッフと共有し、「本人の様子」として記録に残している。 ・全体会議内でモニタリングはしていないが、これまで通り別時間でカンファレンスは実施できており、その結果を全体会議で報告し、より共有しやすくなった。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	7 人	5 人	0 人	0 人	12 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	4 人	7 人	1 人	0 人	12 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	7 人	5 人	0 人	0 人	12 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	5 人	5 人	2 人	0 人	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・サービス開始までに基本情報やケアプランや伝達事項を確認し、支援をイメージしている。 ・入浴やレクリエーションの時にこまめに声掛けをし、様子を観察している。情報は口頭で伝えたり記録に入力し周知できるよう心掛けている。 ・朝のミーティングで情報を集めたり、記録にて前日の様子など情報を共有している。 ・慣れていない利用者に通いサービス時に積極的に声をかけたり、他者との関係を構築できるように支援している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家族と会話をする機会が職員によって偏りが出ているため、必要としている支援ができていないか不安になる。また、家族の不安を受け止めたり、関係作りの配慮ができていないか分からない事もある。 ・新たに決まった支援が周知不十分で徹底されていない事がある。 ・情報の把握が職員によって差が出ている。できているのか分からないでいる職員もいる。 ・配慮は概ねできている評価だが、他の業務に追われて時間確保ができず、十分な声掛けや関わりができていないと感じている職員もいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ミーティングや研修を通して職員間のケアの統一を目指し、必要としている支援により一層近づけるようにする。 ・得た情報を正しく使用できているのかを他職員と確認する場を多く持つように各自で意識する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 5 月 12 日 (17 : 30～18 : 30)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	6 名 (意見確認 12 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5 人	6 人	1 人	0 人	12 人

前回の改善計画	・その時の気分や体調に合わせた目標を設定して支援に繋げていく。内容はモニタリングを行い、個別援助計画書の作成に繋がられるようにする。(必要に応じて既存計画書の内容を見え消しで更新もする) ・利用者のその時の状況に合わせた対応ができるように色々な意見を取り入れ、柔軟な支援ができるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・定期的なモニタリングを継続しており、利用者の状況に応じた支援内容を話し合っ計画作成に反映させている。 ・日々の様子や言動により共有したい出来事は記録に残して色々なスタッフからの意見を参照できるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？	5 人	5 人	2 人	0 人	12 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	4 人	7 人	1 人	0 人	12 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	4 人	6 人	2 人	0 人	12 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	7 人	3 人	2 人	0 人	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・計画、目標に沿った関わりを持つようにし、それに対する反応や変化を記録に残したり申し送り時に伝えている。 ・関わった内容はできるだけ記録に残し全体に周知するようにしている。特に、上手くいかなかった内容に関してはデータとして残し今後の対応に生かせるよう工夫している。 ・利用者の好きな事や楽しめる話題をレクリエーション活動に取り入れるようにしている。 ・カンファレンス等で利用者の課題や計画実施状況の評価を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・安全性を優先する事もあり食形態や体位交換、保清などの支援が現状に合っていないことがある。 ・始業時以外にミーティングを実施する時間の確保が困難。ミーティングでの振り返りや情報収集をする機会が不足している。 ・認知症の進行により自分の意見や思いが上手く伝えられず、本人の「～したい」に対応できていないこともあると思う。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者との関わりを増やし、ニーズに合わせた支援を目指せるように、ミーティング機会の増設など業務改善に努める。 ・日々の情報収集を個別援助計画に反映させられるようにミーティングでの周知、支援状況の統一を目指す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年5月14日（16：00～16：30）
3. 日常生活の支援	メンバー	6名（意見確認12名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	5人	5人	2人	12人

前回の改善計画	・定期的に家族と連絡を取り、情報の共有を行い、「以前の暮らし方」が10個以上把握できるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・本人や家族との何気ない会話の中で以前の暮らし方を確認するようにし、本人の様子に変化あった時は家族へ報告、相談し情報共有を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0人	5人	5人	2人	12人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	8人	4人	0人	0人	12人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	5人	5人	2人	0人	12人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	8人	4人	0人	0人	12人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	6人	5人	1人	0人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・疲労や立位の保持が難しい時はトイレ誘導ではなくパット汚染確認など、本人のその時の状態（体調やバイタルの変化など）に合わせて対応方法を選択し実施できている。 ・体調や様子に変化あればリーダーや看護師、他の職員へ報告したり記録にて共有できるようにしている。 ・都度臨時の訪問や通いなどで様子観察を細かく行うようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・心身状態の大きな変化がない限り以前の暮らし方の情報がなくても、支援を行ううえで大きな支障になっていないため、以前の暮らし方を10個以上把握することまではできていない。 ・暮らしの情報シートを活用しているが、更新されていない事が多く、皆で共有できるほどにはなっていないと感じる。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・情報共有をしやすように「暮らしの情報シート」の更新を行い、担当以外でも「以前の暮らし方」が多く把握できるように努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年5月16日（16：00～16：30）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	6名（意見確認12名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	9人	2人	0人	12人

前回の改善計画	・本人の普段の生活の様子や言動から困っていることや不足していることを引き出すよう意識する。また、家族にも尋ねるようにする。 ・自宅での過ごし方について、家族来訪時や送迎時に聞いたり、送迎車内で談笑がてら本人にも聞く。それを記録に残し共有する。 ・民生委員や地域資源について、引き続き自己学習や勉強会開催を企画し、理解が深まるようにする。 ・「地域資源一覧表」を作成し、提案や活用をしやすいようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・本人の様子を観察し、会話の中で情報収集して家族と電話や来訪時に近況報告や不安に感じていることを引き出し、解消につなげるように努めた。 ・民生委員や地域資源については学習資料の回覧や、包括支援センターと連携し区内の地域資源一覧表をもらい確認できるようにしたが、自信を持って出来ていると言える状況ではなく、引き続き課題として残っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2人	7人	3人	0人	12人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	4人	6人	1人	1人	12人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	3人	7人	2人	0人	12人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	3人	3人	4人	2人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・家族の来訪時には普段の生活ぶりを伝えるなどして、家族が本人に関わりやすいようにしている。 ・併設の高齢者住宅に住んでいる方はフォーマルサービス以外でも声をかけたり巡回するよう配慮している。また、住宅職員からも普段の様子を聞き取り、確認している。 ・市や区の地域資源について資料や冊子で把握し、必要な利用者には情報提供を行った。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・情報収集はしているが人間関係の理解までは難しい。 ・地域資源についてはケアマネジャーなど情報に長けている職員に相談をして活用を委ねることが多く、把握や活用の視点が不足している職員も多かった。また、高齢者住宅入居の利用者には活用する事例があまり無いと認識している職員も多い（本来は訪問理美容や移動販売等を既に活用している）。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・目標期間更新のモニタリング時に現状利用している以上の地域資源が必要かどうかの確認も併せて行うようにする。 ・上記の際に、担当職員が可能な限り自分で調べて提案するよう意識づける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年5月19日（16：00～16：30）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	6名（意見確認12名）

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	6人	6人	0人	0人	12人

前回の改善計画	- 引き続き通いや訪問が本人にとって無理の無い範囲で提供できているか、不足が無いかを定期的に確認をしていく。 - 今後も感染予防に努めながら地域資源を活用していく。また、町内や包括等から新たな資源が無い情報提供を仰ぐ。 - 本人や家族の話に耳を傾け、状況に合わせた対応を心掛けていく。 - ミーティングやカンファレンス、記録の記載を継続し、職員間の情報共有ができるようにしていく。
前回の改善計画に対する取り組み結果	- 本人の様子を記録に記載することや朝のミーティング、定期のカンファレンスを継続しており、情報共有できるように取り組んでいる。 - 地域運営推進会議内で地域資源について意見交換できる場を設けている。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	4人	7人	0人	1人	12人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6人	5人	0人	1人	12人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	9人	3人	0人	0人	12人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	8人	4人	0人	0人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 訪問理美容や訪問販売が定期的に利用できるようにしている。 - 独居の方は見守りが必要かどうか、同居の方は家族の介護負担を確認しながらサービスの調整をしている。 - 外部の利用者家族からの急な宿泊や利用時間の延長依頼があった際は出来る限り対応できるようにしている。 - その日の体調を職員間で共有し、短時間入浴など体調に合わせたサービスを行うようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 以前は余暇ボランティアが定期的に来訪していたが、ボランティアの個人的事情で終了してからは利用機会があまり持てていない。また、ボランティア活動を利用できる場面を職員間で話し合う機会が無い。 - 職員配置の見直しで予定に入っていない週末の宿泊を受け入れるのが難しくなっている。仮に調整した場合は他のサービスに支障や調整が必要なことが想定される。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- 今よりも地域資源を活用できるように、ボランティアが必要な場面などを話し合える場を定期的に持てるようにする。 - 毎月20日位までに申し出があれば翌月の連泊や週末の宿泊が可能な状況のため、今後も本人の体調や家族の負担を確認しながら、できるだけ柔軟な対応を行えるように提案をしたり多職種で連携できるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年5月23日（16：00～16：30）
6. 連携・協働	メンバー	6名（意見確認12名）

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	5人	3人	1人	12人

前回の改善計画	・各会議が「何故必要なのか」を理解して学びを深め、各会議への積極的な参加や意欲を持つことや、個々のスキルアップにも繋げるため、各会議の種類や内容についての学習会を開催する。どうしても参加できない場合は書面で確認できるようにする。 ・地域運営推進会議に介護職員も輪番で参加する体制を継続し、町内や包括支援センターとの会議に参加できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域運営推進会議には介護職員の輪番参加できる体制が出来ており、参加できない職員は書面で確認している。 ・他検討事項に比べ必要性が低かったため、各会議の種類や内容についての学習会を開催していない。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1人	1人	3人	7人	12人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3人	0人	3人	6人	12人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1人	4人	0人	7人	12人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2人	3人	2人	5人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・訪問診療、訪問看護、訪問リハビリの担当者に近況報告や相談をし、連携を取りながら支援に繋げている。 ・夏休みのラジオ体操、夏祭り運営の手伝いが必要か確認したり、参加を希望する利用者と共に夏祭りに参加して楽しんでいた。 ・各会議に参加する機会は少ないが、書面や議事録等に目を通してしている。 ・町内会へ会議場所を提供し、定期的に地域の方が事業所に来訪する機会がある。また、入居者の家族、親戚、友人のほか職員の子供（家族）が来ることもある。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・議事録の確認はしているが、サービス担当者会議はケアマネが介護士兼務で参加しているため参加の機会が殆どない。 ・地域の活動やイベントに参加するための十分な時間を捻出できなかったり、人員の不足もあり少数の利用者しか参加できていない状況。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・担当者会議が予定されている際は予めケアマネに情報提供し、引き続き議事録や報告で内容を確認するように意識する。 ・運営推進会議等で町内のイベントを確認し、少しでも多くの利用者（希望している方）が参加できるように調整を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年5月25日（14：00～14：45）
7. 運営	メンバー	4名（意見確認12名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	5人	1人	6人	12人

前回の改善計画	・地域からの意見、要望、苦情当出された場合、その扱いについてのフローチャート化を行い、把握できる様にする。 ・地域推進運営会議の開催月に行われる全体会議で、地域からの意見、要望、苦情の有無について報告し、議事録以外でもより意識づけできる様にする。 ・地域との協働した取り組みが何かを具体例を用いて理解できる様にし、働きかけていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・近隣からの苦情を受けた際に対応方法をルール化し把握できている。 ・地域推進運営会議の報告を全体会議でできていない。別途ファイル化し閲覧できるようにしているが職員の意識が薄い。 ・地域との方と避難訓練の消火作業を協力して行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	4人	4人	1人	3人	12人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3人	5人	2人	2人	12人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3人	6人	1人	2人	12人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	0人	5人	2人	5人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・問題や改善案を上司に提案もしくは報告できている。 ・意見や要望を真摯に受け止める姿勢はある。 ・苦情内容を確認し上司に報告している。対応は上司の判断に任せている。 ・夏祭りの手伝いの提案や実際にお祭りに参加することができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者・家族・介護者・地域からの意見や苦情が運営に反映されているかは不透明な部分が多い。上司に報告はするが結果を知る機会がなかった。 ・従業員の不足により地域と交流する機会や時間を作ることが困難だった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・問題や改善案を吸い上げる機会が少ないため、会議の中で意見や要望について話す場を設ける。 ・利用者・家族・介護者・地域からの意見を全体会議で共有し、結果を確認する機会を設ける。 ・地域ボランティアを積極的に活用していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年5月27日（16：00～16：30）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	6名（意見確認12名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	6人	2人	4人	12人

前回の改善計画	・地域連絡会に参加して質向上を目指すため、ホームページ等で情報を集めて内容や目的の理解を深めたり、日程を把握するなどして参加できるように努める。参加した職員は内容を復命するなどして共有できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・簡素ではあるが、地域連絡会について資料を作成し理解が深められるようにした。 ・地域連絡会への参加はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	6人	6人	0人	0人	12人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6人	5人	1人	0人	12人
③	地域連絡会に参加していますか	0人	2人	1人	9人	12人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4人	7人	1人	0人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・法人研修、外部研修、内部研修など多くの機会があり、実際に参加してスキルアップを図っている。参加できない時は資料を見て確認している。 ・研修会の案内があり、希望すれば参加できる環境にあり、資格を取得できた職員もいた。 ・リスクマネジメントについて、配薬チェックの方法を変更してリスク軽減に努めた。 ・リスクを想定しながら業務にあたるようにしている。業務内のリスクは職員間で情報共有し対策を立てている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会について、ウェブで開催状況の確認はできたが、時間捻出ができなかった。 ・事故報告書の作成基準や委員会が未設置な事もあり曖昧な対策案になる事がある。 ・事業所のサービス形態上、自宅での生活に介入できる時間や頻度に限りがある事や、提案はできるが決定権が本人や家族にある事から、介護サービス外のリスクは把握しているものの対策は十分にはできていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・事故防止委員会の設置検討や報告書様式の更新など行い、具体的な対策が立案できるようにする。 ・介護サービス外のリスクも報告書を挙げるようにして提案をしやすくする等の業務改善を行い、利用者が地域で安全に生活できるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年5月30日（15：00～15：30）
9. 人権・プライバシー	メンバー	6名（意見確認12名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	8人	2人	0人	12人

前回の改善計画	・成年後見制度について自己学習に活用できる資料を配布し、併せて外部講師による勉強会の開催や、外部研修があれば参加できるようにし、伝達講習にて他スタッフへの理解を促していく。 ・プライバシーについて、引き続き他利用者の前では細心の注意を払いながら職員間の伝達を行い、環境においてはレイアウト変更も視野に、よりプライバシー確保に繋がる様検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・レイアウト変更はしなかったが、職員間の伝達は他者に聞こえないように配慮することを続けている。 ・成年後見制度の参考資料を準備して自己学習できるようにしたり、外部研修で学んだ職員もいたが、全体的な理解促進までには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	11人	1人	0人	0人	12人
②	虐待は行われていない	10人	2人	0人	0人	12人
③	プライバシーが守られている	3人	8人	1人	0人	12人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6人	1人	3人	2人	12人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4人	8人	0人	0人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・勉強会の定期的な開催や、拘束や虐待に該当するものがないかの確認を委員会主導で行っている。 ・同じ内容を伝えるにしても言葉を選んだり、トーンや姿勢に配慮をして身体拘束や虐待に繋がらないように気を付けている。 ・排泄の声掛けは声のトーンを小さくして他者に聞こえにくいようにしている。 ・個人情報に記載しているカルテは鍵付きの保管庫で管理し、他部署との情報連携時には苗字のみにするなど配慮している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度は必要な方が継続利用できているが、該当しそうな利用者が少ないこともあるが職員全体として十分に知識が備わっているとは言い難く課題が残ったままだと思う。 ・業務で使用するケアチェック板が利用者の目に触れやすい場所に置いてあるため、時々利用者が見ている事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・「札幌市成年後見推進センター」主催の関係者向け研修会に数名参加し、年度内に内部研修にて周知できるように企画する。 ・ケアチェック板の置き場所見直しのほか、掲示や各ファイルの運用についても見直す機会を持ち、個人情報が適切に扱えるようにする。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 西岡メディカル	代表者	西澤 寛樹	法人・ 事業所 の特徴	グループ法人のサービスと連携し、地域包括ケアシステムの一助となるサービスを展開できる。 地域住民との支え合いを実践している。 作成年月日：令和 7 年 6 月 30 日
事業所名	小規模多機能ホーム かいてき西岡	管理者	鈴木 隆幸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1 人	1 人	1 人	1 人	人	3 人	人	7 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	- 立案した改善計画を活かすために、各項目最低 1 つは取り組めるように早めに計画を立て、少しでも多くの課題が解決できるようにする。 - 改善計画の中で自分たちだけでは取り組みが難しいものは関係機関にも協力を仰ぐ。	- 職員の入れ替え等もあって実行計画の立案が遅れてしまい、項目によって取り組めなかったことがあった。 - 法人内の研修に参加することで実行に繋がった計画もあった。	- 自己評価様式から全ての項目について検討を重ね立案できている事がわかる。 - 例年同様に実際の取り組み結果を積み上げて達成に向けて進んでもらえたと思う。 - 出来ていない点が明確になっているので次回に向けて意識を持って行動できていると思っている。 - 改善計画全てを実行するのは難しい面もあるが、年単位で少しでも多く取り組めるようにしたい。	業務改善に自己評価の改善計画も盛り込む事で、少しでも多くの課題に取り組めるようにする。
B. 事業所の しつらえ・環境	- 感染対策委員会を中心に衛生面で不備が出ないように環境整備や研鑽機会を設ける。 - 好評である館内装飾に加え、花を育てるなど外観からも良い雰囲気が出せるようにする。	- 感染対策委員会による BCP 研修・訓練や日頃の衛生管理を行い、感染症罹患者は出たが蔓延は防げていた。 - 今年はまだ行っていないが、夏場には館内入口にプランターを設置して花を育て、入館する方から好評を頂いていた。	- 清潔で良好な環境だと思っている。 - 事業所は開放的なイメージがあり良い。一方で、「居心地のいい空間」との設問は個々人の感覚によるものもあるので評価が難しい部分でもある。 - 利用者の作品が飾られており楽しい雰囲気が感じられる。 - 昨年のように玄関の外にプランター等あれば明るい雰囲気がより出ると思う。	昨年度同様に季節ごとの装飾や外から見える印象も明るくなるような工夫をし、出入りがしやすいような環境整備をする。

C. 事業所と地域のかかわり	・行事やイベントの協力や参加ができるような体制を保ち、地域とのかかわりを継続し、少しずつ認知度が上がるようにする。 ・地域の困りごとを把握できるよう運営推進会議等で確認をしていく。	・町内の夏祭りへの協力確認や参加のほか、町内会議の場所提供も継続しており、地域とのかかわりを継続して持っていた。しかし、認知度の向上に至っているかは定かではない。 ・運営推進会議の場で意見要望や困りごとの確認を行い、取り組みについての質問があった際は答えるようにしていた。	・事業所は何事も相談しやすいと感じており特に意見要望は無い。 ・コロナ前の交流関係が少しずつ戻ってきていると思う。体制等の兼ね合いをしながら少しずつ連携を取っていくのが良いのではないか。 ・相談事がある際は民生委員や包括への相談が先になるケースが多いが、意見要望を会議ごとに確認してもらえるのは良い。 ・第二包括や別包括から小規模多機能の利点を活かせるようなケース相談があり利用に結び付いたので、今後も相談を寄せて貰えるように努力したい。 ・2か月に1度だが顔を合わせることで関係性構築に反映できていると思う。 ・まだまだ高齢者住宅の認知度のみが高いと思うが、今の取り組みを継続していく事で徐々に事業所の理解が深まるのではないかと。	・日々の相談援助体制や運営推進会議で意見要望、困りごとの確認を続け、小規模多機能が必要なケースを支援できるようにしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	・行事の充実やボランティアなど地域資源も取り入れながら利用者が楽しみや役割を持てるように支援する。 ・町内の夏祭り参加など、利用者と地域が交流できる機会が持てるように支援する。	・新たなアイデアの行事も行い、利用者に楽しんで頂けたと思う。 ・行事でのボランティア活用は出来ていたが、定期で来訪していたボランティアが終了してからは新たな定期利用はできていない。 ・希望する利用者が夏祭りに参加できており、地域の方と会話をするなど交流ができていた。	・この項目は全て良くして頂けている。 ・地域への声掛け等で事業所が関わることで利用者も地域活動がしやすくなると思うので今後も継続してもらいたい。 ・利用者が町内のラジオ体操や夏祭りを楽しみにしていると知り、嬉しく励みになる。 ・不定期ではあるが最近ボランティアやボランティア体験を受け入れる機会が増えつつある。 ・運営会議で地域資源に関する情報提供や共有できる機会があるが、とても大事と思っている。	・引き続き夏祭りや地域のイベントに利用者が参加できるように支援する。 ・地域資源についての意見交換や共有を続け、事業所のみで支援せず地域で利用者を支援できるようにしていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	・引き続き運営推進会議の中で情報交換を行うことや、課題の解消ができるようにする。 ・職員会議で運営推進会議で出た意見、要望、苦情有無について報告することを続け、参加できなかった職員にも共有しやすい状態を保てるようにする。	・運営会議での意見交換は継続できており、事業所側からも登録や空室の状況を伝えることで利用相談に繋がることもあった。 ・職員会議内や議事録で運営推進会議の開催報告を継続しているが、職員の入れ替わりもあってか浸透や意識統一が不十分だったことが事業所評価で分かった。	・運営推進会議は和やかな雰囲気です意見を出しやすいようにしてもらっている。 ・運営推進会議に参加するようになって1年と少し経ったが事業所の取り組みが分かってきた。 ・パワーポイントでの活動報告が分かりやすくて良い。 ・意見要望の確認のほか、地域資源についての情報交換をしており、参考になっている。	・気兼ねなく意見交流できるような雰囲気を持ち続け、運営推進会議が有効的な場になるように努める。 ・会議内容については輪番参加以外の職員への周知も継続し、事業所で共通認識が持てるようにする。
F. 事業所の 防災・災害対策	・町内と連携した防災訓練の継続のほか、防災委員会が中心となり事業所全体で防災意識が高まるようにする。	・運営規程に定める防災訓練が継続できており、町内会からの参加もできている。 ・BCP 研修・訓練を実施し、防災意識が高まるようにはたらきかけた。	・防災対策は難しい問題だが、避難訓練は有効だと思う。 ・今後も利用者と共に防災訓練を行い、防災意識が高まるようにしてもらえたらと思う。 ・BCP 訓練を行った事で見えてなかった課題も分かり、委員会を中心に改善を図っているところ。	・BCP 研修・訓練や避難訓練を継続して行い、防災意識の維持向上ができるようにする。

